

2023/2024シーズン及び2024/2025シーズンのインフルエンザウイルス分離・検出状況

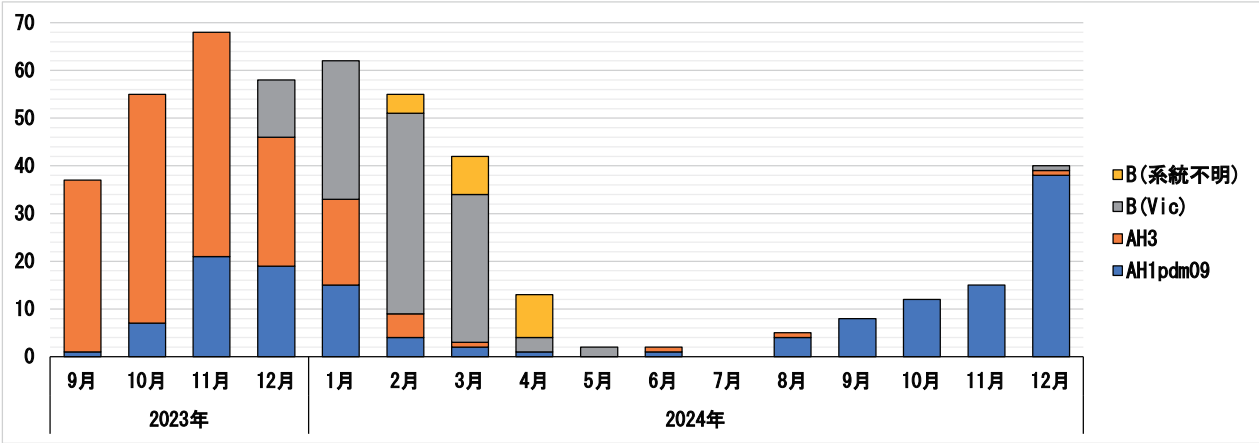
令和6年12月31日現在 <名古屋市を除く>

1 インフルエンザウイルス分離検出状況（感染症発生動向調査、集団かぜ）

<感染症発生動向調査>

検体採取月	2023年				2024年												2023 /24	2024 /25
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
検体数	37	57	70	58	64	58	43	13	2	2		5	9	12	15	41	409	77
検出数	37	55	68	58	62	55	42	13	2	2		5	8	12	15	40	399	75
AH1pdm09	1	7	21	19	15	4	2	1		1		4	8	12	15	38	75	73
AH3	36	48	47	27	18	5	1			1		1				1	184	1
B (Vic)				12	29	42	31	3	2							1	119	1
B (系統不明)						4	8	9									21	
検査中																		

2023/24シーズン←→2024/25シーズン



<集団かぜ>

検体採取月	2023年				2024年												2023 /24	2024 /25
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
検体数	28												10	10			28	20
検出数	2													1			2	1
AH1pdm09														1				1
AH3	2																2	
B (Vic)																		
B (山形)																		
検査中																		

2023/24シーズン←→2024/25シーズン

AH1pdm09：AH1pdm2009、AH3：A香港型、B (Vic)：B型（ビクトリア系統）、B (系統不明)：B型（ビクトリア系統を除くB型）

2023/24シーズンの流行入り：2023年第36週（9月4日開始）

2024/25シーズンの流行入り：2024年第46週（11月11日開始）

2 オセルタミビル感受性サーベイランス

検体採取月	2023年				2024年												2023 /24	2024 /25
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
検査数	5	13	19	5	12							2	8	13	15	38	56	74
275H（感受性）	5	13	18	5	12							2	8	11			55	19
275Y（耐性）			1														1	
検査中															15	38		53

275Y：ノイラミニダーゼ遺伝子に薬剤耐性変異あり

2023/24シーズン←→2024/25シーズン

当所で分離されたH275Y変異株を国立感染症研究所にて薬剤感受性試験を実施※

ウイルス株名	亜型名	検体採取 年月日	耐性マーカー	薬剤投与 状況	IC ₅₀ (nM)*				
			NA/PA	タミフル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	パロキサビル
A/AICHI/272/2023	AH1pdm09	2023/11/13	H275Y/199E	■治療 2023/11/13～ 2023/11/17	328.24	16.61	0.49	1.07	5.02
A/Alabama/03/2020 (CDC耐性参照株)	AH1pdm09	2020/02/04	H275Y		235.85	9.11	0.28	0.98	
A/Illinois/45/2019 (CDC感受性参照株)	AH1pdm09	2019/12/26	275H		0.18	0.06	0.22	0.36	
A/Illinois/08/2018 (CDC耐性参照株)	AH1pdm09		I38T						400.78
A/Illinois/08/2018 (CDC感受性参照株)	AH1pdm09		38I						4.77
2023/2024シーズンIC ₅₀ 中央値(AH1pdm09感受性株)					0.24±0.06	0.08±0.01	0.40±0.13	0.58±0.15	3.21±1.76

オセルタミビル及びペラミビルに対して耐性を示した

ザナミビル、ラニナミビルに対しては感受性を保持していた

※ 2023/2024シーズン抗インフルエンザ薬剤感受性試験

（感染研インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター第一室実施）

3 パロキサビル耐性疑い例

国立感染症研究所にて薬剤感受性試験を実施※※

検体情報：2024年9月、臨床的にパロキサビルに効果なし

ウイルス株名	亜型名	検体採取 年月日	耐性マーカー	薬剤投与 状況	IC ₅₀ (nM)*				
			NA/PA	ソフルーザ	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	パロキサビル
A/AICHI/38/2024	AH1pdm09	2024/09/20	275H/E199K	■治療 2024/9/12 ～2024/9/12	0.20	0.10	0.41	0.63	27.13
A/Alabama/03/2020 (CDC耐性参照株)	AH1pdm09	2020/02/04	H275Y		196.47	15.62	0.26	0.82	
A/Illinois/45/2019 (CDC感受性参照株)	AH1pdm09	2019/12/26	275H		0.16	0.07	0.22	0.30	
A/Illinois/08/2018 (CDC耐性参照株)	AH1pdm09		I38T						332.68
A/Illinois/08/2018 (CDC感受性参照株)	AH1pdm09		38I						3.36
2023/2024シーズンIC ₅₀ 中央値(AH1pdm09感受性株)					0.21±0.03	0.10±0.01	0.40±0.05	0.61±0.08	6.53±1.16

PA蛋白にE199K変異が認められた

臨床検体及び分離株ともパロキサビルに対する感受性が低下していた

※※ 2024/2025シーズン抗インフルエンザ薬剤感受性試験

（感染研インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター第一室実施）